

## I : Mopria Alliance の現状と今後について

代表説明者  
能西 豊茂

説明会 : 「Mopria Alliance の現状と今後について」  
説明者 : 能西 豊茂氏、原島 博之氏、柚賀 信一氏、鈴木 直氏  
開催日 : 2015 年 2 月 12 日  
参加者 : 31 名  
記 : 豊吉 直樹\*

### 1. はじめに

近年、スマートフォンやタブレットのモバイル機器が普及し、ビジネス環境も変わりつつある。時間や場所に制約されずに働くワーカーが増えるとともに、モバイル機器からの印刷ニーズも増大している。

このような環境下において、当委員会では発足当時よりモバイル印刷の標準規格の構築を目的として活動を行っている業界団体である Mopria Alliance に注目していた。また、Mopria Alliance に参画している企業と JBMIA 会員企業には一部重複があり JBMIA 会員企業の取り扱う製品群との関連も深い。そこで今回は Mopria 団体とのコンタクトを行い、JBMIA 会員企業に情報共有する意義をご理解頂いて、説明会という形で開催させて頂く運びとなった。

### 2. 説明会内容

説明には Mopria Alliance の Board メンバー企業であるコニカミノルタとキヤノンから 4 名の関係者にお越し頂いた。Seated Executive のコニカミノルタからは能西様と原島様、Founder のキヤノンからは柚賀様と鈴木様、説明は代表して能西様が行われた。

Mopria Alliance の現状と今後について、Mopria Alliance のホームページ (<http://www.mopria.org/>) の公開情報を中心に、スライドや YouTube の動画等も交えてご紹介があり、その後に質疑応答を行った。

説明は、上記の URL からほぼ確認して頂ける内容で当日の資料配布は無かったため、主な質疑内容も交えて以下に記録としてまとめる。



Fig.1 説明会の様子

#### 2.1. Mopria Alliance とは

Mopria Alliance は、世界的な大手テクノロジー企

\* 技術調査専門委員会委員

業をメンバーとする会員制非営利団体で、スマートフォン、タブレット、およびその他のモバイル機器からの直観的でシンプルなワイヤレスの印刷を提供することを共通のゴールとしている。業界全体をひとつにまとめて、選定された標準規格の採用を推進し、モバイル・ソフトウェア・アプリケーション・プロバイダーが印刷機能を組み込むことを支援する。また、Mopria ロゴマークを付与する製品の認証も行っている。

### 2.2. 課題の認識について

IDC の調査によると、モバイル端末から印刷はしたいが、やり方が分からないというユーザーが 75%以上いるとのお話があった。また、現在のプリンターでは各メーカーが独自のプラグインを開発し、専用アプリ（ドライバー）として提供しているため、画面の操作性やサポートされる機能が統一されていないという課題も示された。

これらの課題に対して、Mopria Alliance では統一した標準規格を設定してメーカーやモバイル機器、出力機器の違いによらず簡単にモバイル印刷が行えるようにして、ユーザーの利便性を向上することを狙っている。

### 2.3. 参画メンバーについて

Mopria Alliance は、2013 年 9 月 24 日にキヤノン、HP、サムスン電子、ゼロックスの 4 社にて発足した。2014 年 2 月のプレスリリースでは、その後半年を待たずに、12 の企業を新たにメンバーとして迎えたことが報じられている。メンバーには Board Members、Executive Members、Adopters、Legacy Adopters の 4 つのレベルがあり、質疑でご回答を頂いた各々の活動内容と 2015 年 5 月の時点で参画企業は以下のとおりである。

Board Members は、キヤノン、HP、サムスン電子、ゼロックス、Adobe、コニカミノルタの 6 社で、今後 Mopria Alliance をどういう分野へ発展させるのかの方向付けや、ポリシー関係、Mopria ロゴマークの承認行為などを行っているとのことである。

Executive Members は、富士ゼロックス、ブラザー工業、京セラドキュメントソリューションズ、EPSON、Lexmark、CSR、Broadcom、Marvell、Pantum の 9 社で、技術仕様をディスカッションできるメンバーである。

Adopters（質疑応答では General）は、Conexant Systems、DELL、Monotype Imaging、Lenovo、沖データ、リコー、シャープ、東芝テックの 8 社で、決まった仕様を見ることができ使うことができるメンバーである。

Legacy Adopters は、ALLION、Global Graphics Software、PRIMAX、RF Ideas、Teco Image Systems の 5 社で、テストツールを作っているメンバーである。

### 2.4. 現状について

2014 年から、Android4.4 (KitKat) 用の Mopria プラグインが公開され、Mopria 対応プリンターや MFP が各社から発売されている。対応機種は既に数百種類を超えており、下記のリンクから確認することができる。

<http://mopria.org/KnowledgeCenter/SupportedProducts.aspx>

2015 年現在では Android のみのサポートとなっているが、Mopria Alliance では、他の OS やプラットフォームに対しても拡大していくとしている。同様の仕組みとして、Apple の AirPrint や Google の Google Cloud Print などがあるが、戦うことが目的ではなくどうコラボレーションして行くかは将来に向けて考えていきたいとの回答であった。

### 2.5. 今後について

「A Day in the Life with Mopria」と題した Mopria を活用した生活シーンのイメージビデオが YouTube で公開されており説明会の中でも紹介された。

<https://www.youtube.com/watch?v=qGegtIx2pVI>

ここに描かれた外でのプリントに対してはセキュリティや課金について質問があったが、現在はカバーできておらず、まずはきちんと印刷できるようになること、次にそれらを考えるとのことであった。

またホームユースのシーンもありターゲットユーザーについての質問もあったが、ターゲットは特定せず

広く捉えていること、フェーズが進むにつれて、どこに向かうかを議論していきたいとのことだった。

最後に、まだプロセスは進行中とお話があり、我々も今後の動きに引き続き注目していきたいと感じた。

尚、Mopria Alliance のホームページには FAQ が設けられているので、当日時間の都合でご質問頂けなかった方は是非ご参照頂きたい。

<http://www.mopria.org/KnowledgeCenter/FAQ.aspx>

### 3. おわりに

説明会は質疑応答も活況で、聴講者の関心の高さが伺えました。最後になりますが、説明者の能西様にはお忙しい中、時間を割いてご準備頂き、また動画等も交えて非常に分かりやすいご説明をして頂きましたこと、また原島様、柚賀様、鈴木様には多くの質疑にご対応を頂きましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

禁 無 断 転 載

2014 年度「ビジネス機器関連技術調査報告書」 “I” 部

発行 2015 年 6 月

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)

技術委員会 技術調査専門委員会

〒108-0073 東京都港区三田三丁目 4 番 10 号 リーラヒジリザカ 7 階

電話 03-6809-5010(代表) / FAX 03-3451-1770